

別紙

<1> 展覧会について

1. 名称 特別展「みやこの舞楽—舞楽面と舞楽図でたどる芸能の美—」
2. 会期 2025年10月4日(土)～11月9日(日)
【前期】10月4日(土)～10月19日(日)
【後期】10月21日(火)～11月9日(日)
3. 開館時間 午前10時00分～午後5時00分(入館は午後4時30分まで)
4. 入館料 一般 1,100円、高校生・大学生 770円、小学生・中学生 無料
5. 無料招待デー 10月31日(金)大和文華館開館記念日
6. 主催 大和文華館、近鉄グループホールディングス株式会社
7. 共催 毎日新聞社
8. 出陳品数 69件

代表的な展示作品 重要文化財 山形県指定有形文化財

【Ⅰ. 舞楽の成立と発展】

- ◎桑実寺縁起絵巻 くわのみでら 上巻 天文元年(1532) 滋賀・桑実寺【後期展示】
- ◎舞楽面 おうにんてい 皇仁庭 長久3年(1042) 奈良・東大寺
- ◎舞楽面 ばとう 抜頭 天養元年(1144) 奈良・法隆寺
- ◎舞楽面 さんじゆ 散手 じょうけい 定慶作 寿永3年(1184) 奈良・春日大社
- ◎舞楽面 りょうおう 陵王 平安時代 広島・巖島神社

【Ⅱ. 三方楽所の成立と近世舞楽の展開】

- 舞楽面 陵王 桃山時代 大阪・四天王寺
- ◎舞楽面 さいそうろう 採桑老 天下一越前作 寛文9年(1669) 奈良・春日大社
- 舞楽楽器之図 文化12年(1815) 東京国立博物館

【Ⅲ. 楽家と舞楽面】

- ◎舞楽面 陵王・納蘇利 なそり 鎌倉時代 大阪・四天王寺
- 舞楽面 こたくらく 胡徳楽 へいしとり 瓶子取 室町時代 個人
- 舞楽面 げんじょうらく 還城楽 江戸時代 奈良・薬師寺

【Ⅳ. 描かれる舞楽—舞楽イメージの継承】

- 舞楽図譜 室町時代 林家
- 応永舞楽図巻模本 江戸時代 東京国立博物館
- 舞楽図屏風 江戸時代 個人

<2> 展覧会会期中のイベントについて

1. 日曜美術講座：「南都における舞楽面の展開」

- (1) 日 時 10月12日(日) 14時00分から
- (2) 場 所 講堂
- (3) 講 師 大和文華館 学芸部係長 一本 崇之

2. 連続講座「蔦屋重三郎の錦絵出版」 第3回「役者絵…北斎・春英・写楽」

- (1) 日 時 10月19日(日) 14時00分から
- (2) 場 所 講堂
- (3) 講 師 大和文華館 館長 浅野 秀剛

3. 講演会：「江戸時代の雅楽演奏家と舞楽面の伝来」

- (1) 日 時 10月26日(日) 14時00分から
- (2) 場 所 講堂
- (3) 講 師 奈良県文化財課主査 山田 淳平氏

4. 列品解説

- (1) 日 時 毎週土曜日 14時00分から
- (2) 場 所 展示場
- (3) 解 説 大和文華館 学芸部

※上記の何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

※講堂の最大定員は100名です(先着順)。

5. 特別公演：「天王寺舞楽の雅 一舞楽「蘭陵王」「納蘇利」一」

- (1) 日 時 11月2日(日) 14時00分から
- (2) 場 所 講堂
- (3) 出 演 天王寺楽所 雅亮会
- (4) 観 覧 料 1,000円
- (5) 定 員 80名〔事前申込制〕

以 上